

一般質問通告表

令和3年第1回始良市議会定例会（3月9日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
12. 新福 愛子	1. 子宮頸がん予防ワクチン個別情報提供について	<p>令和2年10月9日、厚生労働省は、HPVワクチン接種について接種の有無に関わらず、接種対象者及び保護者が検討・判断し接種を希望した場合に円滑な接種ができるよう、子宮頸がんやHPVワクチンの有効性・安全性に関する情報等を知っていただくリーフレットの個別送付による情報提供を通知した。それを受けて本市では、希望される方が年度内に接種を完了できるよう迅速に対応された。以下、事業の進捗と課題を問う。</p> <p>(1) 個別送付後の問合せの状況 (2) 接種の状況把握 (3) 見えてきた課題 (4) 来年度からの取組</p>	市長 教育長
	2. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、以下を問う。</p> <p>(1) 学校・公共施設の手洗い場の自動水栓化について トイレや手洗い場の水栓（蛇口）のレバーへの取り換えが帖佐・建昌小学校において整備された。 ①帖佐・建昌小学校、両校の検証と、幼稚園・小中学校における今後の整備計画を示せ。 ②庁舎をはじめとする公共施設の整備計画はあるか。 (2) 市役所窓口の混雑情報をホームページでも公開し、スマートフォン等で見られるようにする取組が始まって</p>	市長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 男女共同参画社会の実現に向けて	<p>いる。コロナ禍での3密回避と利用者の待ち時間の短縮に繋がる取組として本市でも検討できないか。</p> <p>責任ある立場にある人の失言により女性活躍推進はもとより人権意識のあり方を社会全体で考えるなど、まさに男女共同参画社会の実現を希求する潮流となりつつある。本市の男女共同参画行政を担う男女共同参画課の取組をさらに実効性あるものとするため以下を問う。</p> <p>(1) 市民生活部男女共同参画課となつてからの検証結果を示せ。</p> <p>(2) 「課」から「推進室」への変更と企画部への組織編成の検討は考えないか。</p>	市 長 教育長
13. 湯之原 一郎	1. 大型事業の見直しについて	<p>本定例会初日に行われた市長の施政方針演説で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を考慮して、大型事業（蒲生総合支所複合新庁舎と全天候型子ども館）を見直すとの表明があった。</p> <p>蒲生複合新庁舎の基本設計業者選定のための公開プレゼンテーションがつい先日実施され、結果が2月15日に発表されたばかりである。その中での突然の見直し発表でかなり驚いている。</p> <p>コロナ禍にあつて、財政状況がひっ迫してくることはある程度予想されたことではあるが、議会も真剣に議論してきた「全天候型子ども館」と蒲生複合新庁舎建設の両事業の見直しは、市民の期待を裏切ることになるのではないかと憂慮する。議会ばかりでなく、市民に納得のゆく説明を求めたい。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 林業振興策について</p>	<p>(1) 全員協議会で総務部長から概要の説明は受けたところではあるが、市長の口から見直しに至った理由について、説明を求める。</p> <p>(2) いつの段階で、見直しを決断したのか問う。</p> <p>(3) 見直し後の建設計画について説明を求める。</p> <p>(4) 市民に理解を得るために、どのように説明していく考えか問う。</p> <p>林業の役割については、日常生活に直結してその効果を実感することが余りないため、注目度も低く、国土保全や災害防止、地球環境の保全など様々な面で大きな貢献をしているにもかかわらず、理解の得られにくい産業であると常々感じている。</p> <p>藩政時代に地の利、土壌条件など杉の植栽に適していることから、殖産事業として杉の植栽が進められ、優れた材質の「蒲生メアサ杉」が一世を風靡した時代もあった。</p> <p>時代の趨勢で、安い外国産材の輸入が増え、木材価格の低迷期が長く続き、放置山林が増加してきたが、環境問題が重要課題となる中で、森林保全の大切さが徐々に見直されつつある。国も森林環境税（現状は「森林環境譲与税」）を創設して、都市に住む住民を含めて、国民全体で森林を保全し林業を活性化して、地球環境を守っていこうという機運が醸成されてきていることは、一筋の光が見えてきた感じがしている。</p> <p>始良市も多くの森林面積を擁しているが、課題も多くあると考える。</p> <p>そこで以下の項目について問う。</p>	<p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(1) コロナ禍にあって、木材価格が下降していたが、輸出が回復基調にあり、バイオマス需要もある中で、多少持ち直してきてはいる。そのような兆しが見える中で、現場で働く林業従事者確保が大きな課題となっている。林業従事者確保策に、市としてのどのような施策を考えているか。</p> <p>(2) 森林環境譲与税の使途について、十分に活用が図られているか。</p> <p>(3) 「蒲生メアサ杉」は素晴らしい材質ではあるが、初期の生育が進まないため、生育の早い他樹種の植栽が進み、最近では苗木も手に入らなくなっている。</p> <p>林業は息の長い産業であるが、将来を見据えて市有林にメアサ杉の植栽を進めて、資源の保全に資することはできないか。</p> <p>(4) 新庁舎建設に当たり木材の活用はどの程度になるか。</p> <p>(5) 地域林業の担い手組織として中心的役割を果たしている「森林組合」に市としてどのように向き合っていく考えなのか問う。</p>	
14. 上村 親	1. 令和3年度施政方針について	<p>(1) 行政手続きにおける押印の見直しについて、コロナ感染拡大防止と事務等の効率化を図る観点から押印の廃止に取り組むが、どのような要件で廃止を考えているか問う。</p> <p>(2) 市営住宅の築50年以上経過した住宅を年次的に解体し、土地については公売による売却処分を行い、地域住民の意向に沿った形で取り組むが、年次計画は策定しているか。地域から</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 報酬審議会の諮問について	<p>の要望等はどうなっているか問う。</p> <p>(3) 公共交通網の維持及び強化について、利用者の増加に向けて地域公共交通網形成計画の見直し、計画内容の変更について問う。</p> <p>(4) 令和2年度の施政方針で大型グラウンドゴルフ場の設置については、場所の選定中である。できるだけ早い完成を目指すものであり、場所候補を始良市が所有する土地で検討するとのことであったが、検討結果を問う。</p> <p>(5) コロナ禍で、本市の財政状況や歳入における市税見直し等からも、徹底した行財政改革が必要である。各種施策・事業の見直しも必要になってくると思うが、どのような計画変更や見直し等を考えているか問う。</p> <p>合併から10年が経過し、令和4年は、合併後4回目の始良市長、市議会議員の改選となる。</p> <p>コロナ禍で税収等が伸びない中、本市の財政状況を鑑み、特別職及び議会議員の報酬等の額の改定について、始良市特別職報酬等審議会へ市長から諮問する考えはないか。また、その結果を公表する考えはないか問う。</p>	市 長
15. 岩下 陽太郎	1. 行政のデジタル化実現について	令和3年度施政方針でも示されたとおり、国の策定した自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画に対し、「デジタル行政推進課」を設置し対応していくとのことである。また、	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>地方公共団体情報システム機構への職員派遣も迅速な対応であり英断であると言える。</p> <p>政府は2月9日にデジタル改革関連法案を閣議決定した。内容は自治体のシステム統一やマイナンバー活用を進め行政のデジタル化を加速していくものである。</p> <p>政府は、自治体に令和7年度までの業務システムの仕様統一を義務付け、国が整備するクラウド上で、事業者がシステムを提供する予定とし、そのシステムを自治体が共同利用する仕組みになり、自治体間や国との情報連携の円滑化や、コスト削減につなげる構想のようである。</p> <p>しかし、本市を始めとする各自治体はすでに独自にシステムを構築しており、制度改正に伴う改修など負担は大きいと予想されている。</p> <p>そこで、以下の内容を問う。</p> <p>(1) デジタル化の基盤となるマイナンバーカードの普及が必須である。政府が令和4年度末までにほぼ全国民に行き渡らせることを目標としているが、国の施策以外で本市独自で取り組む計画があるのか。</p> <p>(2) 令和4年度末までに自治体の行政手続き(31手続)のオンライン化を目指しているが、この施策に対する本市の課題はあるのか。</p> <p>(3) 政府はテレワークの推進による行政業務の見直しも掲げられているが、本市の取り組みや考え方などを示せ。</p> <p>(4) AIやRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などの</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 桜島・錦江湾ジオパークエリアについて	<p>利用し、業務効率化の効果を高めることが求められている。本市のこれまでの取組やこれからの考え方などを示せ。</p> <p>(5) 行政のデジタル化に対応する人材の確保が必須となるが、どのように考えているのか。また、令和3年度から新設するデジタル行政推進課の業務内容と今後の方向性を示せ。</p> <p>2月5日、桜島・錦江湾ジオパークが鹿児島市、垂水市及び始良市の全域を含む形でエリア拡大が日本ジオパーク委員会から認定された。</p> <p>これによる、様々メリットやデメリットがあると考えられる。市として、ジオパークを盛り上げていく必要があると考えるが、今後の本市における取組や計画などを示せ。</p>	市 長 教育長
16. 小山田 邦弘	1. 施政方針について	<p>(1) 基本的な考え方について</p> <p>コロナ禍にあっても、「すべてを始良市のために。始良市民のために」という市長のモットーや、「可能性全開！夢と希望をはぐくむ まちづくり」というまちづくりの基本理念は変わらないことが力強く示された。</p> <p>とはいえ昨年度、施政はコロナ禍に翻弄され、多くの事業が見送られたり、内容変更を余儀なくされた。</p> <p>この経験や反省を生かし、ウィズ・コロナ時代に先駆けるような施政の新しい視点やコロナ禍で変わった、変わろうとしている行政運営の仕組みなどはなかったか。</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(2) 主要施策について</p> <p>コロナ禍の影響なのか、当初予算で目玉と思われるような事業が見受けられない。今年度の始良市のイチオシの事業を示せ。</p> <p>その一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による影響などを考慮し、蒲生総合支所の複合新庁舎など大型整備事業についてはスケジュールの一部見直しが示された。見直しの理由と検討されている具体的な内容を示せ。</p> <p>(3) 国との連動について</p> <p>国はコロナ禍においても、一般財源額を適切に確保できるよう地方交付税交付金を確保したとしており、各自治体はこれにうまくキャッチアップすることが重要である。</p> <p>本市も国との連動で財政面での量的確保を図ることはもちろんだが、今回のような重要施策のスケジュール変更などに直面すると、財政運営の質的向上も図るべきだと考える。</p> <p>国では地方公共団体の経営・財務マネジメントを強化するためにアドバイザー派遣事業を創設としている。こうした国の施策との連動も図り、財政運営の質の向上も図るべきではないか。</p>	